

令和 6 年度

しんじょうのよさん

わかりやすい予算書

新庄市
令和 6 年 4 月

目 次

1. 予算とは.....	2
2. 令和6年度の予算.....	3
2-1. 一般会計歳入の状況.....	5
2-2. 一般会計歳出の状況.....	6
3. 令和6年度の主な事業.....	9
4. 歳入歳出決算の状況.....	23
5. 財政指標の状況.....	24

1. 予算とは

Q 予算ってなに？

A 予算とは、1年間の収入と支出を見積もることです。

新しい年度が始まる前に、1年間（4月から翌年の3月まで）にどのくらいの収入があるのか、また行政サービスをどのように行うのか計画し、その費用を見積もります。これらの内容をまとめたものが予算書で、これを市議会で審議し、予算を決めます。

Q 予算はどんな目的で決めますか？

A 新庄市総合計画で定めた目標を達成するための予算を作成します。

住みよいまちづくりを進めるための市の方針に則り予算を定めます。新庄市総合計画（令和3年度から令和12年度まで）を定めていますので、その目標を達成するための予算を定めます。



Q 一度決めた予算は、変えることができないの？

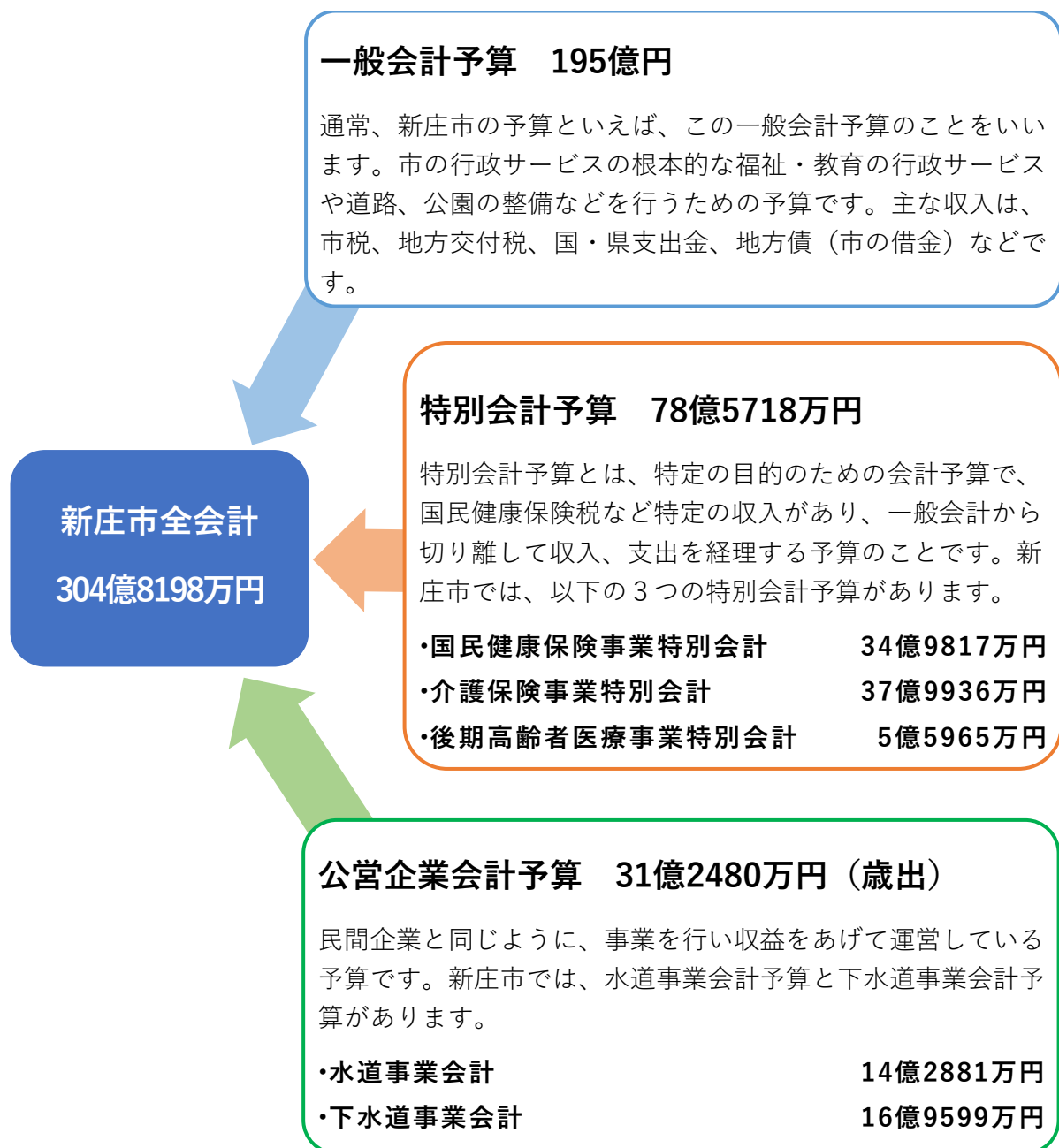
A 変えることができます。補正予算といいます。

大雨などの自然災害、雪の降雪状況、経費のかかり増しなどによって、それらに対応しなければなりません。その場合、変更する予算の内容を記したものが補正予算書で、概ね6月、9月、12月、3月の市議会定例会で決めます。

2. 令和6年度の予算

Q 令和6年度新庄市の予算規模は？

A 一般会計予算は **195億円**（前年度比+4億2100万円）となりました。特別会計予算と公営企業会計予算を合わせると、**304億8198万円**になります。



Q 他の市と比べるとどうですか？

A 人口一人あたりの予算額で比較すると、やや大きな規模となっていることがわかります。

予算の規模は、概ね人口に比例したものになりますが、本市の人口一人あたりの予算は56.63万円となり、県内同規模の自治体と比較してやや大きくなっています。

	(人口)	(当初予算)	(一人あたりの予算)
新庄市	34,432 人	195 億 0000 万円	56.63 万円
寒河江市	40,189 人	217 億 6000 万円	54.14 万円
上山市	29,110 人	158 億 7000 万円	54.52 万円
東根市	47,682 人	261 億 0200 万円	54.74 万円
南陽市	30,420 人	166 億 8000 万円	54.83 万円

※人口は令和2年国勢調査人口

Q 今年度の予算のポイントは？

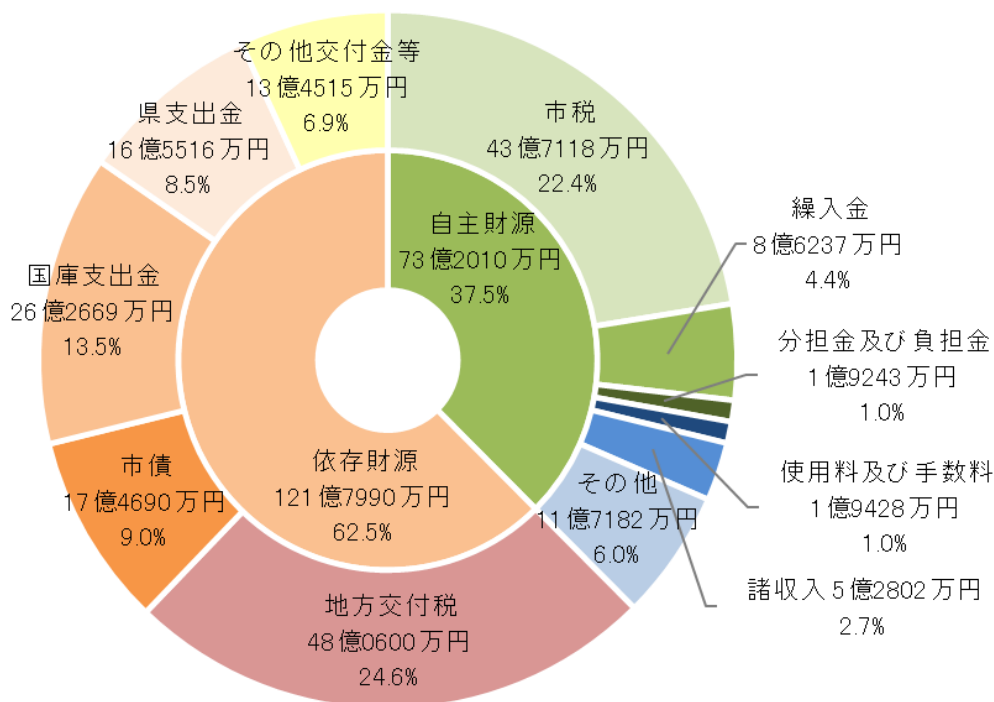
A 今年度は、新中部保育所（仮称）やエコロジーガーデン付近道の駅の整備事業といった大事業のほか、給食費の助成や高校3年生までの医療費の無償化などの子育て世代への支援、行政のデジタル化推進及び社会教育施設の省エネ改修などの事業に重点的に取り組み、様々な世代が住みよさを実感できるまちの創生に向けた事業を展開するための予算となりました。

令和3年3月策定の「中期財政計画」の目標を守りながら予算を決めています。安全かつ良質な公共サービスを継続して実施できるように、令和6年度予算においても、徹底して内部管理経費を削減し、引き続き健全な財政運営を行っていきます。

2-1. 一般会計歳入の状況

◆一般会計歳入内訳

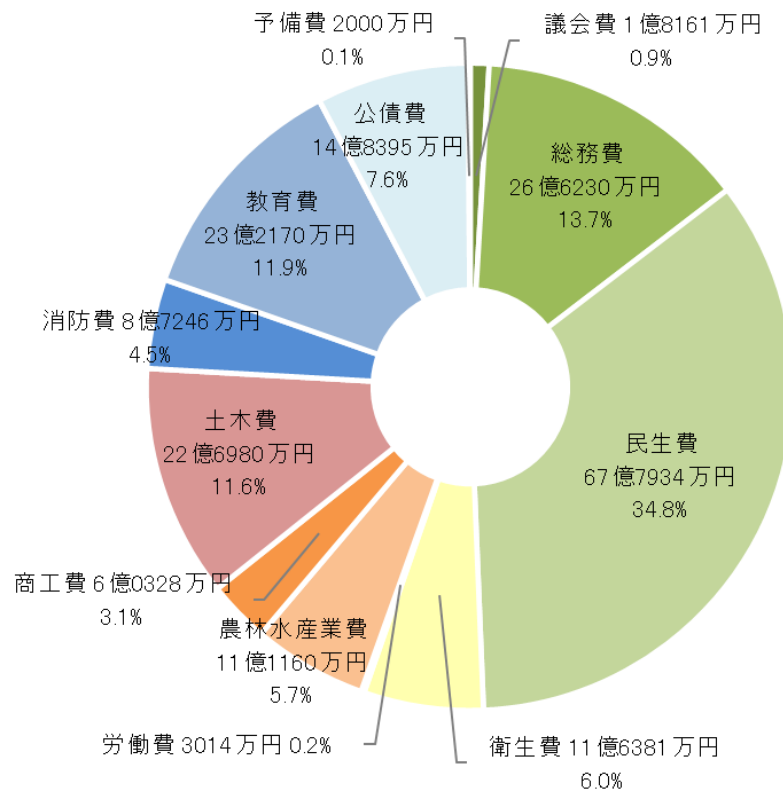
項目	説明	金額	前年比
自主財源	市が自主的に収入できる財源	73億2010万円	94.6%
市税	皆さんから納めていただく税金	43億7118万円	97.2%
繰入金	基金を取り崩して使うお金	8億6237万円	109.0%
分担金及び負担金	事業の経費の一部を受けるサービスに応じて利用者が負担するお金	1億9243万円	94.9%
使用料及び手数料	施設の使用料や証明書等の発行手数料など	1億9428万円	99.8%
諸収入	ほかの科目に分類されない預金利子や雑収入	5億2802万円	60.1%
その他	寄付金や財産収入、繰越金など	11億7182万円	100.0%
依存財源	国や県から交付されたり、割り当てられたりする財源	121億7990万円	107.4%
地方交付税	地方公共団体の財政状況などに応じて国から配分されるお金	48億0600万円	101.4%
市債	建設事業などを実施するために、国や金融機関から借り入れるお金	17億4690万円	110.1%
国庫支出金	特定の目的を達成するために、国から交付されるお金	26億2669万円	109.4%
県支出金	特定の目的を達成するために、県から交付されるお金	16億5516万円	113.4%
その他交付金等	譲与税や各種交付金など	13億4515万円	116.0%
合計		195億0000万円	102.2%



2-2. 一般会計歳出の状況

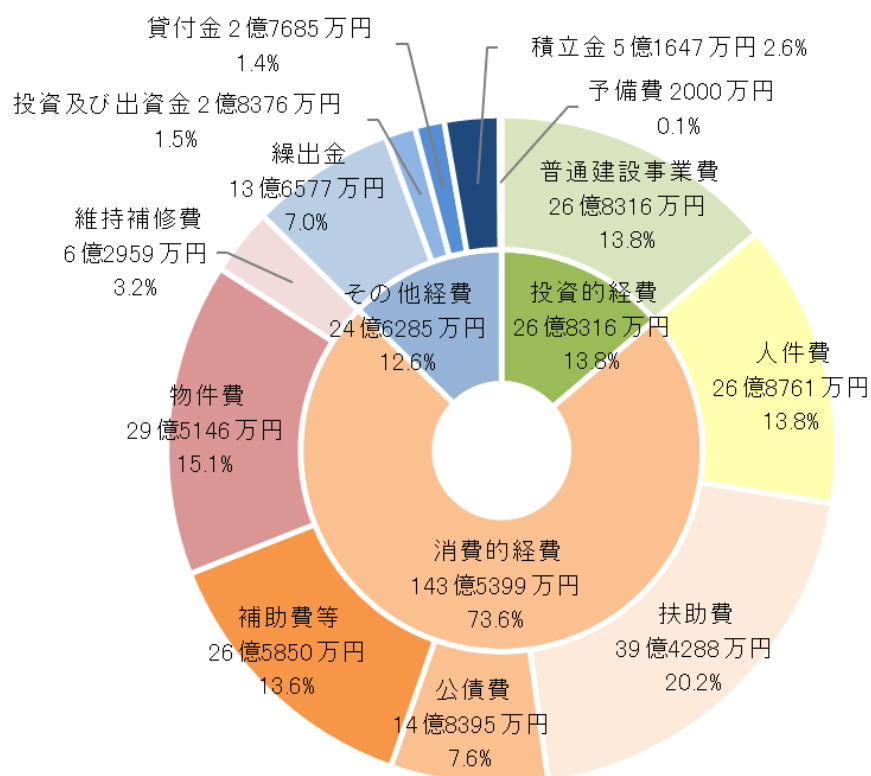
◆目的別歳出内訳

項目	説明	金額	前年比
議会費	議員の報酬や議会運営などに使われるお金	1億8161万円	101.2%
総務費	市役所の運営や財政管理、市税の賦課徴収、選挙などに使われるお金	26億6230万円	103.4%
民生費	社会福祉の充実を図るため、児童、高齢者、障がい者などのための使われるお金	67億7934万円	108.0%
衛生費	市民の健康増進や生活環境の改善、ごみ処理などに使われるお金	11億6381万円	91.8%
労働費	労働者の福祉向上や就労支援などに使われるお金	3014万円	100.0%
農林水産業費	農林漁業の振興、技術の普及などに使われるお金	11億1160万円	130.7%
商工費	商工・観光の振興、中小企業の育成、企業誘致などに使われるお金	6億328万円	51.8%
土木費	道路、河川、住宅、公園などの公共施設の整備や維持管理、道路の除排雪に使われるお金	22億6980万円	113.8%
消防費	火災、風水害、地震等の災害対策のために使われるお金	8億7246万円	123.1%
教育費	教育教育や社会教育、文化財保護のために使われるお金	23億2170万円	91.3%
災害復旧費	大雨、暴風、地震などの災害により、被災した施設の復旧に使われるお金	-	-
公債費	国や金融機関などから借り入れた市債（借金）の元金・利子償還のために使われるお金	14億8395万円	101.0%
予備費	緊急に支出を必要とする場合のためのお金	2000万円	100.0%
合計		195億0000万円	102.2%



◆性質別歳出内訳

項目	説明	金額	前年比
投資的経費		26億8316万円	112.1%
普通建設事業費	道路や流雪溝整備、小中学校の建設や大規模改修などにかかる経費	26億8316万円	112.1%
災害復旧事業費	大雨、地震などの災害により、被災した施設の復旧にかかる経費	-	-
消費的経費		143億5399万円	103.3%
人件費	職員の給料などにかかる経費	26億8761万円	106.3%
扶助費	生活保護費、障がい者支援費などの福祉や医療にかかる経費	39億4288万円	101.5%
公債費	借入金(収入の部の「市債」)の返済にかかる経費	14億8395万円	101.0%
補助費等	一部事務組合(最上広域)に対する負担金など	26億5850万円	99.0%
物件費	光熱水費、消耗品費、通信運搬費や委託料など	29億5146万円	108.8%
維持補修費	施設の維持管理のための経費(除排雪費も含む)	6億2959万円	102.4%
その他経費		24億6285万円	88.2%
繰出金	特別会計への繰出金	13億6577万円	101.9%
投資及び出資金	公益事業へ支出する経費	2億8376万円	109.0%
貸付金	企業振興資金や奨学資金など、一時的に貸し出す経費	2億7685万円	37.9%
積立金	各種基金への積立金	5億1647万円	116.8%
予備費	緊急に支出を必要とする場合のための経費	2000万円	100.0%
合計		195億0000万円	102.2%



新庄市の予算を月の収入が30万円の家庭に例えると

◆令和6年度家計簿（予算）

収入	(単位：円)	構成比	支出	(単位：円)	構成比
給料 (市税)	67,000	22.4%	食費 (人件費)	41,000	13.8%
諸収入 (使用料・手数料等)	32,000	10.7%	医療費・保育費 (扶助費)	61,000	20.2%
親からの援助 (地方交付税・国庫支出金等)	161,000	53.5%	ローン返済 (公債費)	23,000	7.6%
預金の取崩し (繰入金)	13,000	4.4%	家のリフォーム代 (普通建設事業費)	41,000	13.8%
銀行からの借入 (市債)	27,000	9.0%	光熱水費 (物件費)	45,000	15.1%
			車の修理代 (維持補修費)	10,000	3.2%
			学費・各種会費 (補助金等)	41,000	13.6%
			仕送り (操出金)	21,000	7.0%
			その他	17,000	5.7%
計	300,000		計	300,000	



10年前と比較すると…

支出の割合を見ると、「医療費・保育費」や「光熱水費」などの日常にかか
るお金の割合が増え、一方で、「家のリフォーム代」などに充てられるお金の割
合が大きく減っています。


◆平成26年度家計簿（決算）


収入	(単位：円)	構成比	支出	(単位：円)	構成比
給料 (市税)	70,000	25.8%	食費 (人件費)	38,000	14.3%
諸収入 (使用料・手数料等)	34,000	12.6%	医療費・保育費 (扶助費)	40,000	15.0%
親からの援助 (地方交付税・国庫支出金等)	142,000	52.4%	ローン返済 (公債費)	24,000	9.0%
預金の取崩し (繰入金)	0	0.0%	家のリフォーム代 (普通建設事業費)	55,000	20.7%
銀行からの借入 (市債)	25,000	9.2%	光熱水費 (物件費)	26,000	9.8%
			車の修理代 (維持補修費)	15,000	5.6%
			学費・各種会費 (補助金等)	30,000	11.3%
			仕送り (操出金)	26,000	9.8%
			その他	12,000	4.5%
計	271,000		計	266,000	


3. 令和6年度の主な事業

「第5次新庄市総合計画」で掲げるまちづくりの柱ごとに令和6年度に取り組む主な事業を掲載します。


(1) 子育て – 子どもの笑顔があふれるまち –


結婚活動等支援事業	総合政策課	内線 236
	事業費	1,587 万円
	財源：県 1,020 万円 一般財源 567 万円	
	結婚新生活支援事業補助金	1,530 万円
	やまがたハッピーサポート センター負担金	7 万円
	最上広域婚活事業実行委員会 負担金	36 万円
	Ai ナビやまがた登録料助成金	7 万円
	やまがた縁結びたい活動支援 助成金	6 万円
事務費等	1 万円	
<p>結婚を希望する若者の出会いの機会創出や結婚新生活のための支援補助金など、結婚に関する支援を行います。</p>		

3世代同居等住宅取得助成事業	総合政策課	内線 236
	事業費	558 万円
	財源：一般財源 558 万円	
	3世代同居等住宅取得助成金	540 万円
	事務費等	18 万円
<p>18歳までの子を持つ世帯（子の親が40歳未満）を対象に、3世代同居・近居をするための住宅取得費用の一部を助成することで、3世代同居・近居による子育てしやすい環境を整備し、子育て中の親の孤立感・負担感を解消するとともに、子育て世帯の定住と出生率の向上を図ります。</p>		

保育所等における ICT 化推進事業	子育て推進課 内線 562	
	事業費 1,324 万円	
	財源：県 842 万円 一般財源 482 万円	
	保育業務支援システム 初期構築委託料	244 万円
	ICT 化推進支援事業費 補助金	1,080 万円
<p>保育所等における業務の ICT 化を推進することにより、事故防止等の体制強化による児童の安全確保を図るとともに、保育士の業務負担の軽減を図り、保育士が働きやすい環境を整備します。</p>		


新中部保育所（仮称）建設事業	子育て推進課 内線 562	
	事業費 6 億 9,648 万円	
	財源：市債 5 億 9,680 万円 一般財源 9,968 万円	
	建築工事費 工事監理業務委託料 解体工事実施設計業務 委託料	6 億 5,262 万円 1,076 万円 369 万円
	備品購入費	2,571 万円
	消耗品費	138 万円
	手数料	29 万円
	施設管理費	203 万円
<p>施設の老朽化に伴い新たに整備を進めている新中部保育所（仮称）について、新庄の歴史風土を感じられる最上公園の一角に設置し、都市公園の環境を生かした施設として令和 7 年度の開所を目指します。</p>		


子育て支援医療給付事業	子育て推進課 内線 544	
	事業費 1 億 4,640 万円	
	財源：県 3,895 万円 一般財源 1 億 745 万円	
	医療給付費 事務費等	1 億 4,043 万円 597 万円
	<p>高校 3 年生までの外来・調剤・入院にかかる自己負担額を無料化して、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。</p>	

学校給食補助事業	学校教育課 内線 444	
	事業費 3,285 万円	
	財源：一般財源 3,285 万円	
	学校給食費補助金	3,285 万円
<p>市立学校に在籍する第1子について、1食あたり小学生15円、中学生20円の補助のほか、義務教育期間に在籍する児童等が2人以上いる世帯について、第3子以降児童等学校給食費無償化補助および第2子児童等学校給食費半額補助を継続して実施します。</p>		

(2) 教育 —いのち輝き学びあうまち—


情報教育推進事業	教育総務課 内線 446	
	学校教育課 内線 448	
	事業費 5,798 万円	
	財源：一般財源 5,798 万円	
	ICT 支援員委託料	502 万円
	学校教育用 ICT 関連機器	545 万円
	メンテナンス業務委託料 フィルタリングソフト更新 業務委託料	453 万円
	備品購入費 (大型モニター整備等) 事務費等	368 万円 3,930 万円
<p>これまで整備した ICT 環境を活用し、児童生徒の情報教育を推進します。ICT 支援員を各校に派遣し、教職員の技能向上を図るとともに、フィルタリング対策に万全を期し、家庭学習におけるタブレット端末の活用を進めます。さらに、各教室で使用する大型モニターの整備を計画的に進めます。</p>		


特別支援教育事業	学校教育課 内線 444	
	事業費 6,012 万円	
	財源：一般財源 6,012 万円	
	会計年度任用職員給与費 (個別学習指導員、特別支援教育支援員、特別支援指導員)	5,962 万円
	講師謝金 事務費等	44 万円 6 万円
<p>学校生活や学習を行う上で特別な配慮が必要な児童生徒を支援するため個別学習指導員、特別支援教育支援員を配置し、学習活動の充実を図ります。また、特別支援教育体制の強化のため特別支援指導員を配置し、個別検査や面談、専門家と連携しての巡回相談による支援等を行います。</p>		

社会教育施設省エネ化改修事業	社会教育課 内線 461	
	事業費 2 億 8,403 万円	
	財源：市債 2 億 5,520 万円 一般財源 2,883 万円	
	実施設計業務委託料 工事請負費	1,079 万円 2 億 7,324 万円
<p>社会教育施設等（市民プラザ、市民文化会館、市立図書館、雪の里情報館、わくわく新庄、市民球場投光器、東山テニスコート）の老朽化した照明設備を LED 化し、エネルギー効率の良い設備へ切り替えることで、利用環境の改善と施設全体の維持費の削減を目指します。</p>		

新庄藩主戸沢家墓所 7号棟保存修理事業		社会教育課 ふるさと歴史センター 22-2188	
	事業費 327 万円		
	財源：国 163 万円 県 7 万円 市債 140 万円 一般財源 17 万円		
	実施設計業務委託料	327 万円	
<p>国指定史跡「新庄藩主戸沢家墓所」のうち、桂嶽寺にある7号棟のこけら葺き屋根は、老朽化により仮補修となっており、葺替工事を行い、貴重な文化資源を後世に伝えます。令和6年度に工事の実施設計、令和7年度に屋根の葺替工事を行う予定です。</p>			

(3) 健康・福祉 – 健やかでしあわせなまち –


健康増進事業		健康課 内線 515	
	事業費 5,861 万円		
	財源：雑入 1,332 万円 国 6 万円 県 195 万円 一般財源 4,328 万円		
	会計年度任用職員給与費	240 万円	
	がん検診等委託料	4,320 万円	
	かむてん健康チャレンジ事業 委託料	396 万円	
	栄養改善事業委託料	20 万円	
	口腔衛生事業委託料	37 万円	
	補助金	63 万円	
扶助費	69 万円		
事務費等	716 万円		
<p>がん検診や健康づくり事業等を通じて、市民の健康づくりに対する意識の向上を図り、主体的な健康づくりを推進します。</p>			


在宅老人福祉事業		成人福祉課	内線 550
		事業費	715 万円
		財源：県 225 万円 一般財源 490 万円	
		在宅高齢者基礎調査業務委託料	11 万円
		冬期生活支援事業業務委託	408 万円
		デイサービスセンター用地借上料	113 万円
老人クラブ活動助成費	50 万円		
老人クラブ連合会活動推進費	29 万円		
高齢者による健康いきいき 活動支援事業費補助金	96 万円		
事務費等	8 万円		
<p>高齢者が在宅において健康で生き生きとした自分らしい暮らしを続けるために、生きがいや健康づくりなどの活動の場を通して、高齢者の社会参加を進めています。また、安全・安心な生活を営むために、見守りや相談体制の整備を進め、関係機関と連携し支援を行っています。</p>			

障がい者自立支援給付事業		成人福祉課	内線 555
		事業費	11 億 2,030 万円
		財源：国 5 億 7,922 万円 県 3 億 1,790 万円 一般財源 2 億 2,318 万円	
		委員等報酬	62 万円
		会計年度任用職員給与費	457 万円
		自立支援医療費審査等手数料	267 万円
障がい支援区分認定調査 業務委託料	1 万円		
介護給付費・訓練等給付費	9 億 6,697 万円		
障がい児通所給付費	1 億 2,529 万円		
療養介護医療費	528 万円		
障がい者自立支援医療費	448 万円		
補装具費	900 万円		
軽度・中等度難聴児 補聴器購入支援事業費	15 万円		
事務費等	126 万円		
<p>施設等利用または地域に居住する障がい者（児）が自立または安心して日常生活や社会生活を営むため、障がいを補う装具や、日常生活用具の給付、住宅改修、居宅介護サービスや就労継続支援等の福祉サービスの提供など、必要な支援を行います。</p>			

(4) 産業 ー 活力のあるまち ー

担い手総合支援対策事業		農林課	内線 261
	事業費	3,078 万円	
	財源	： 県 1,950 万円 一般財源 1,128 万円	
	新規就農支援事業補助金		410 万円
	地域計画推進中心経営体		400 万円
	モデル事業補助金		
	農地利用効率化等支援交付金		600 万円
	農業次世代人材投資資金		300 万円
新規就農者経営開始資金		1,050 万円	
新庄市農業再生協議会負担金		40 万円	
事務費等		278 万円	
<p>農業従事者の高齢化、後継者不足が進展しており、地域農業を担う者の確保・育成を図るため、新規就農者の早期の経営安定化から、農業経営の改善・発展段階までの一貫した支援を行います。</p>			

林業振興事業		農林課	内線 265
	事業費	810 万円	
	財源	： 県 55 万円 基金繰入金 700 万円 一般財源 55 万円	
	橋梁点検業務委託料		110 万円
	航空レーザ測量共同解析実施		495 万円
	負担金		
	森林経営管理制度に基づく森林		197 万円
	所有者意向調査業務委託料		
事務費等		8 万円	
<p>令和 5 年度に実施した民有林の航空レーザ測量データを基に引き続き県及び 4 市町村（新庄市・舟形町・鮭川村・戸沢村）共同で解析を行います。あわせて森林経営に適しているモデル地区を選定し、地区内の森林所有者へ意向調査を行います。また林道橋梁長寿命化の対象施設である大森橋（林道山屋線）については、整備後 50 年が経過しており、今後補修等の経費が増大することが見込まれるため、定期点検及び耐震診断等を行い、橋梁の状態を調査します。</p>			

新庄まつり振興事業	商工観光課 内線 252	
	事業費 3,747 万円	
	財源：一般財源 3,747 万円	
	新庄まつり実行委員会負担金 新庄まつり山車位置情報 システム導入業務委託料	3,482 万円 265 万円
<p>物価高騰の影響や熱中症対策により経費が増大している各団体の運営や担い手の確保を支援するため、山車連盟の各若連への交付金増額の継続のほか、囃子若連・神輿渡御行列実行員会への交付金も増額します。またまつり期間中の熱中症対策や傷病者の発生に備えるため、医師・看護師がいる救護所を増設します。さらに、まつり観覧者の利便性の向上や交通渋滞の緩和を図るため、山車に設置している GPS 端末を更新し、まつり山車の位置情報を表示するシステムを強化します。</p>		

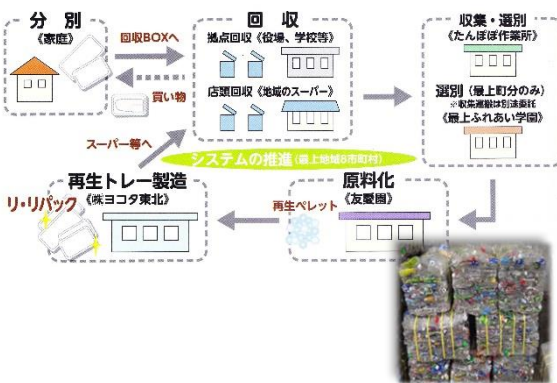
道の駅整備事業	都市整備課 内線 528	
	事業費 3 億 2,336 万円	
	財源：国 2 億 1,490 万円 市債 9,600 万円 一般財源 1,246 万円	
	道の駅工事 事務費等	3 億 2,163 万円 173 万円
<p>高速交通網の整備促進による道路ネットワーク利用の活発化により、交流人口や関係人口の拡大、地域の活性化を促すため、目的の異なる 2 つの道の駅の整備を進めます。</p> <p>新庄インターチェンジ付近「道の駅」は最上 8 市町村の情報発信や回遊の拠点となり、本地域へ波及効果をもたらす道の駅を目指し、本市としての整備方針を検討していきます。関係機関と調整のうえ検討会を再開し、整備に向けた協議を進めます。</p> <p>エコロジーガーデン「道の駅」は登録有形文化財を有効に活用し、自然豊かな憩いの場となる道の駅を国との一体型事業として整備を進め、令和 7 年度のオープンを目指します。</p>		

(5) 生活環境 –安全・安心で美しいまち–

非常備消防運営事業		環境課	内線 436
 <p>消防団救命救急研修状況</p>	事業費	8,170 万円	
	財源	県 6 万円 諸収入 57 万円 一般財源 8,107 万円	
	消防団員報酬等	4,759 万円	
	指令車等修繕料	36 万円	
	消耗品費	36 万円	
	団員用備品購入費	92 万円	
	消防団運営交付金	372 万円	
	婦人防火協力班運営交付金	8 万円	
	消防団員退職報償費負担金等	2,555 万円	
	研修負担金	10 万円	
事務費等	302 万円		
<p>消防団は、最上広域消防本部と連携しながら消火・救助などの活動を行うとともに、災害時には、警戒活動、避難誘導などの災害対応を行うなど、地域防災の要として活動しています。市では消防団が必要とする活動服や車両等の各種設備を整備するための経費を負担しています。</p>			

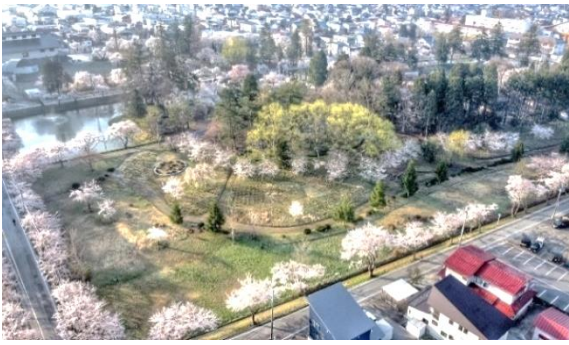
災害に強いまちづくり推進事業		環境課	内線 435
 <p>災害図上訓練 (DIG) 状況</p>	事業費	1,797 万円	
	財源	国 185 万円 一般財源 1,612 万円	
	防災用排水ポンプ購入費	554 万円	
	市総合防災訓練費	107 万円	
	災害時非常食・非常水等購入費	58 万円	
	新庄市自主防災組織育成事業費 助成金	150 万円	
	新庄市防災士連絡会運営交付金	8 万円	
	災害備蓄用品購入費	59 万円	
	防災行政無線保守業務委託料	338 万円	
	IP 無線機利用料	95 万円	
事務費等	428 万円		
<p>災害に強いまちづくりを進めるため、水害に備えた排水ポンプ設備の拡充、総合防災訓練の実施、自主防災組織における防災資機材の購入助成、市防災士連絡会の活動助成などを行い、防災体制の整備を進めます。</p>			

交通安全対策事業	環境課 都市整備課	内線 438 内線 530
 	事業費	8,057 万円
	財源：県 62 万円 一般財源 1,339 万円 交通災害共済事業特別会計清算金 6,656 万円	
○交通安全対策事業 委員等報酬（交通指導員） 会計年度任用職員給与費等 交通安全功労者表彰経費 カーブミラー修繕料 運転免許証自主返納支援事業費 備品購入費 事務費等		387 万円 695 万円 2 万円 79 万円 161 万円 132 万円 101 万円
○道路維持関係事業 ガードレール修繕 転落防止柵更新修繕 市道路面標示設置修繕 道路標識等修繕 安全対策施設修繕 学校周辺区画線設置業務委託料 工事請負費		600 万円 240 万円 328 万円 176 万円 356 万円 500 万円 4,300 万円
<p>交通安全施設整備や交通安全指導専門員及び交通指導員による各種交通指導、高齢者運転免許自主返納支援事業など通常実施している安全対策に加え、令和6年度では交通災害共済事業特別会計の廃止に伴う清算金を活用し、交通安全指導専門員、交通安全指導員、交通安全母の会、かもしかクラブなどで使用する交通安全資機材の購入や、市道の区画線設置、ガードレール改修、カラー舗装などの整備を進めます。</p>		

容器包装リサイクル事業	環境課	内線 432
	事業費	4,389 万円
	財源：諸収入 187 万円 一般財源 4,202 万円	
容器包装廃棄物（缶・ペットボトル）収集業務委託料		2,758 万円
ガラス・陶磁器類処分業務委託料		1,122 万円
食品トレー収集運搬業務委託料		178 万円
食品トレー中間処理業務委託料（分別・処理）		317 万円
事務費等		14 万円
<p>再資源化が可能な廃棄物（資源ごみ）の収集運搬、処理・処分を行い、ごみの減量・資源化を図ります。また、食品トレーは新庄最上定住自立圏構想の連携事業として福祉団体、企業と連携しながら再利用、再資源化を推進します。</p>		

(6) 都市基盤 – 快適な暮らしを支えるまち –


雪総合対策事業（道路の除排雪事業）	都市整備課	内線 533
	事業費	6 億 507 万円
	財源：国 7,641 万円 県 68 万円 市債 6,340 万円 諸収入 1,620 万円 一般財源 4 億 4,838 万円	
	施設管理委託料	1,668 万円
	光熱水費（清水揚水機場運転等）	5,091 万円
	補助金（小型除雪機等購入費補助金等）	472 万円
	流雪溝整備工事費（桧町地区）	9,904 万円
	会計年度任用職員給与費	1,341 万円
	除排雪業務委託料	2 億 7,985 万円
	除雪管理GPSシステム利用料	402 万円
	除排雪機械借上料	3,000 万円
除雪車等購入費（歩道用小型除雪車、凍結防止剤散布車）	4,640 万円	
修繕料（除雪車、グレーチング等）	3,154 万円	
事務費等	2,851 万円	
<p>市道及び生活道路の除排雪を行い、冬期間の安全な交通確保と市民生活の維持を図ります。また、第2次新庄市総合雪対策基本計画に基づき流雪溝を整備し、「機械除雪＋流雪溝」による克雪体制を推進します。あわせて整備した流雪溝の運用や市民の雪対策の活動へ補助を行い、冬期間の市民生活の負担を軽減します。（※歩道用小型除雪車の購入については、交通災害共済事業特別会計清算金を活用します。）</p>		

公園管理・整備事業	都市整備課	内線 530
	事業費	9,915 万円
	財源：国 2,052 万円 市債 2,250 万円 使用料 10 万円 諸収入 424 万円 一般財源 5,179 万円	
	公園駐車場整備工事費	4,560 万円
	修繕料	233 万円
	光熱水費	960 万円
	施設管理委託料	3,305 万円
	最上公園等除雪業務委託料	342 万円
	除雪車借上料	20 万円
	事務費等	495 万円
	<p>「新庄市歴史的風致維持向上計画」に基づき、最上公園及び周辺環境を、歴史ある城址公園として、また、市民の憩いの場や誰もが楽しめる賑わいの空間として、重点的に整備を進めます。令和6年度は、新中部保育所の建築に合わせ、公園駐車場を整備します。市内に点在する都市公園については、市民協働による美化活動や軽作業などを実施し、地域住民と連携を図りながら、引き続き、安全・安心な公園環境の維持管理に努めます。</p>	



準学生寮供給促進事業	都市整備課 内線 525	
	事業費 2,000 万円	
	財源：国 1,000 万円 県 500 万円 一般財源 500 万円	
	準学生寮供給促進事業費 補助金	2,000 万円
<p>市街地にある空き家・空きテナント等のリノベーションを行い、令和6年4月に開学した東北農林専門職大学の学生が居住する「準学生寮」として供給する事業を促進します。若者等が居住できる住宅を供給することにより、まちなか居住による賑わいの再生と空き家利活用の促進を目的とします。</p>		

市営バス運行事業	総合政策課 内線 234	
	事業費 2,549 万円	
	財源：諸収入 400 万円 県 84 万円 使用料 78 万円 一般財源 1,987 万円	
	修繕料	62 万円
	運行業務委託料	468 万円
	まちなか循環線運行負担金	1,667 万円
事務費等	352 万円	
<p>新庄駅と県立新庄病院を拠点施設として市街地を循環する「まちなか循環線」と、各地区から拠点施設までを運行する「土内線」、「芦沢線」を運行し、住民の日常の買い物、通院、通学や公共施設への移動手段の確保を図ります。</p>		

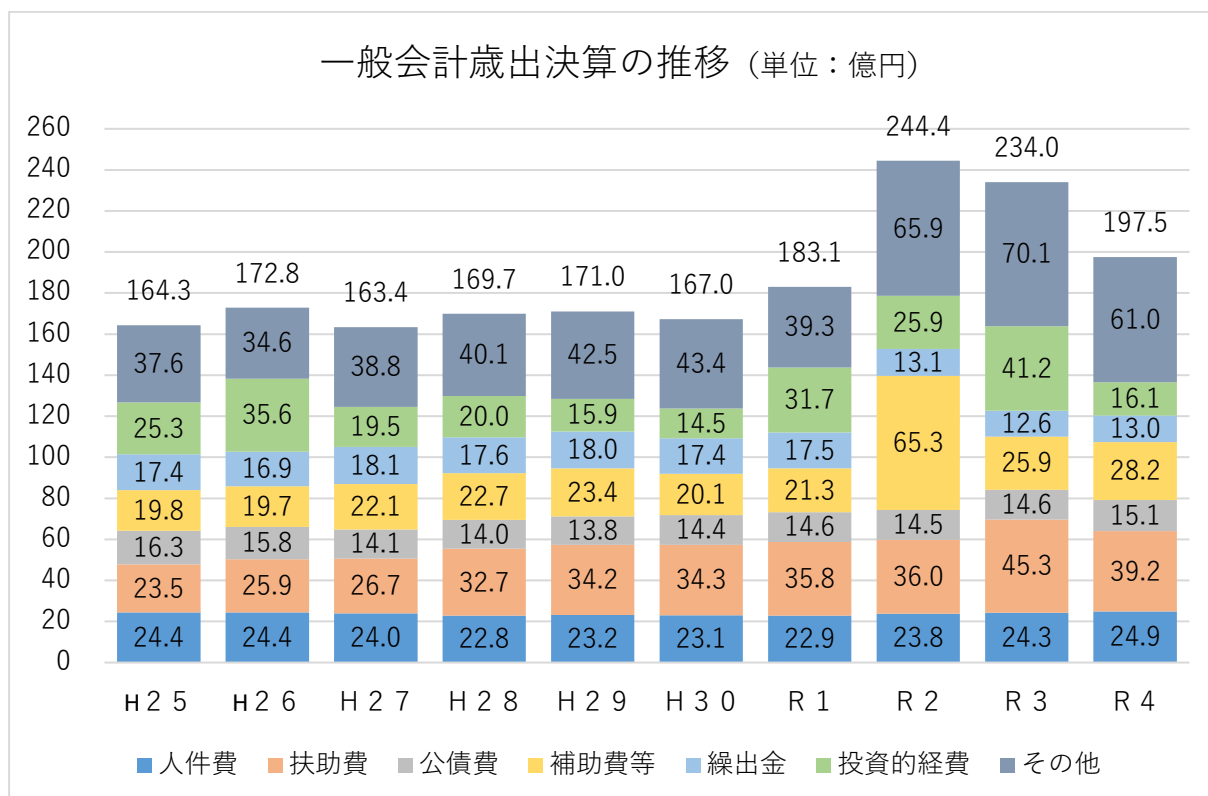
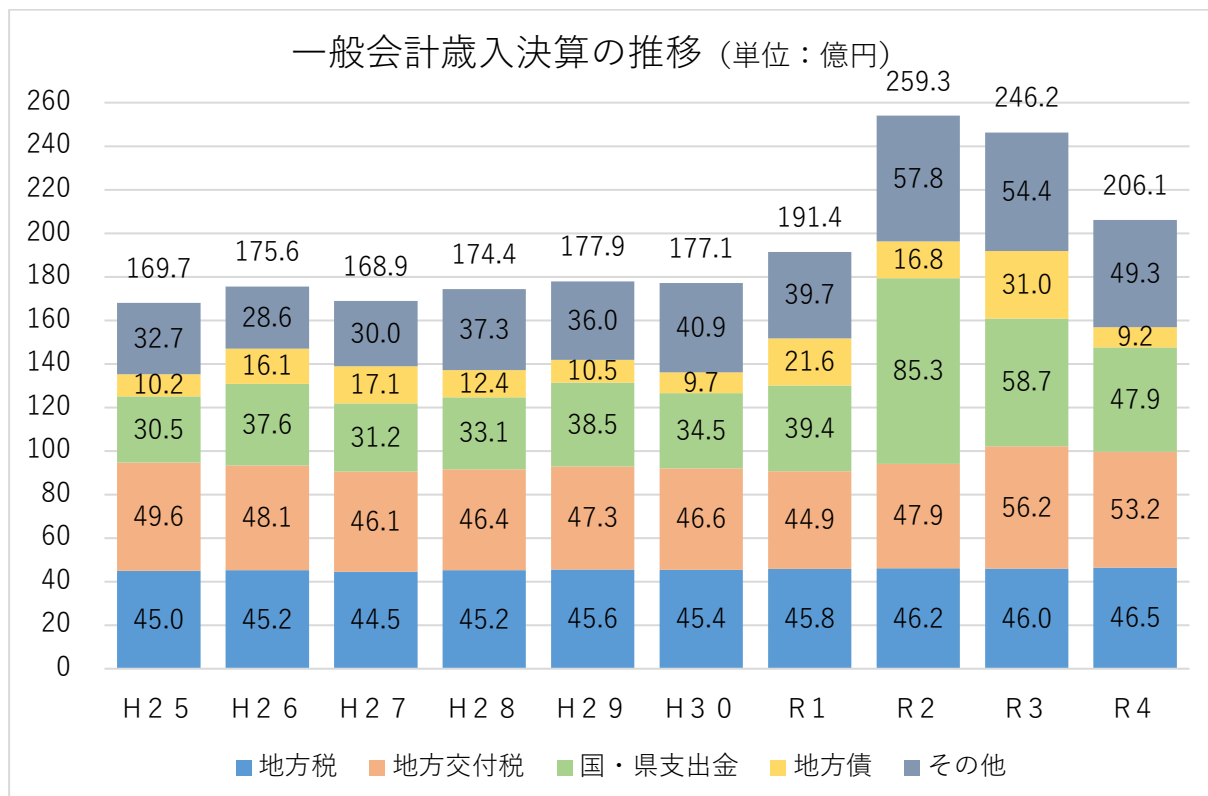
(7) シティプロモーション – 選ばれるまち –

市公式 LINE アカウント 機能拡張事業		総合政策課	内線 234
	事業費	184 万円	
		財源：一般財源 184 万円	
	システム構築業務委託料	105 万円	
	システム使用料	79 万円	
<p>登録者の興味関心のある情報に限定して配信できるセグメント配信機能や、ユーザーからの質問に自動で返答するチャットボット機能などを新たに導入します。これにより、登録者のニーズに沿った情報を配信できるほか、行政手続きの問い合わせへの 24 時間応答が可能になります。</p>			

ふるさと納税事業		総合政策課	内線 214
	事業費	10 億 2 万円	
		財源：寄附金 10 億円 財産収入 2 万円	
	会計年度任用職員給与費	529 万円	
	報償費	2 億 5,000 万円	
	広告料	660 万円	
	配送料等	9,087 万円	
	手数料	498 万円	
	ふるさと納税寄附受付等 代行業務等委託料	1 億 4,504 万円	
	ふるさと納税管理システム 機器保守業務委託料	37 万円	
	積立金	4 億 7,442 万円	
事務費等	2,245 万円		
<p>これまでの返礼品のブラッシュアップ、新たな商品開発、広告掲載やパンフレット送付、メディアなどを活用した広報などを効果的に実施していくことで、さらなる寄附金収入の拡大、本市の認知度の向上や特産品の価値の向上を図り、観光誘客や交流・関係人口の拡大を目指します。</p>			

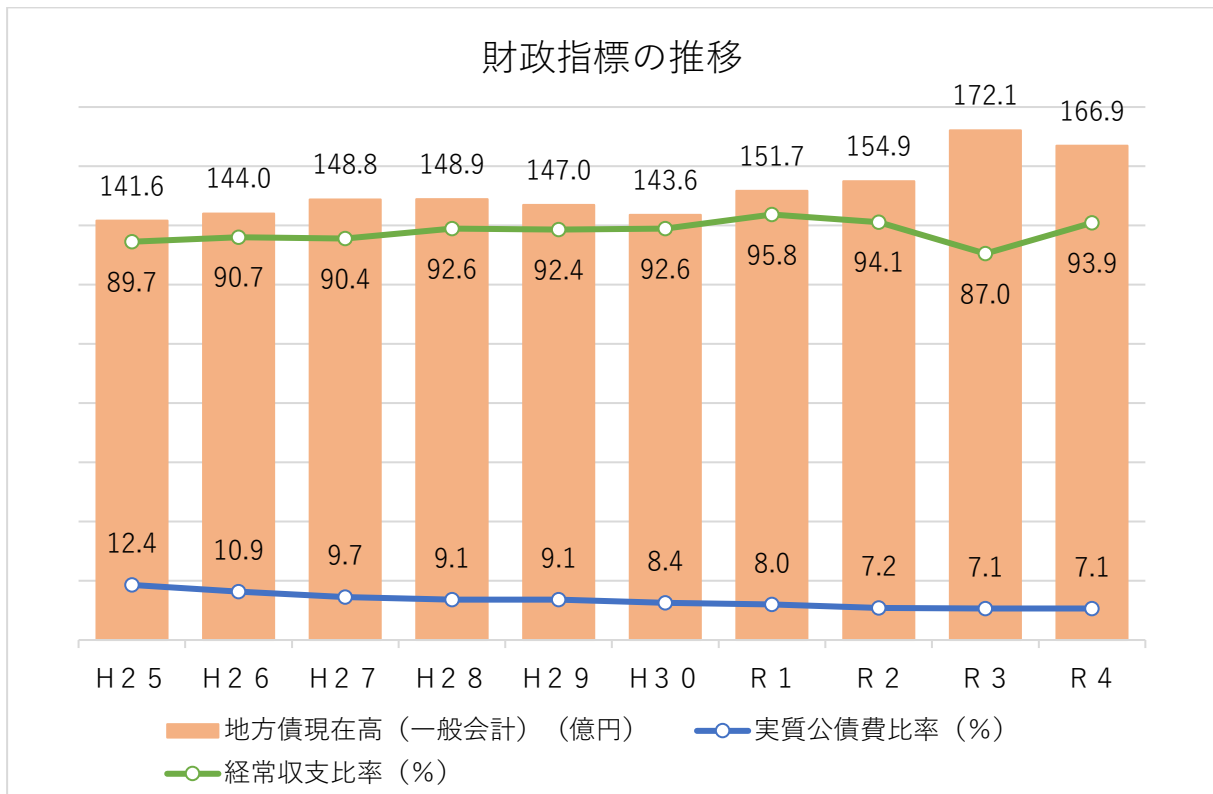
移住・定住促進事業	総合政策課 内線 215	
 <p data-bbox="277 712 740 752">対人口比飲食店数全国第1位!</p> <p data-bbox="331 790 692 831">生活利便度東北第1位!</p>  <p data-bbox="248 976 743 1048">ないものはない 新庄市</p>	事業費 767 万円	
	財源：県 156 万円 一般財源 611 万円	
	報償費 移住支援事業補助金 移住世帯住宅取得助成金 移住体験交通費助成金 事務費等	13 万円 200 万円 500 万円 23 万円 31 万円
本市へ移住する方に対して、生活する上での必要な「食・住」の面でサポートします。 また、各種移住希望者向けに本市の住みよさや移住者への手厚いサポートの周知を図り、 移住者の増加を目指します。		

4. 歳入歳出決算の状況



※令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のためのワクチン接種事業や経済対策事業を実施したことにより、例年より予算規模が増大しています。

5. 財政指標の状況



Q 実質公債費比率とは？

- A 実質公債費比率とは、1年間の収入総額に対する、1年間で支払った借入金（地方債）返済額などの割合。数値が小さいほど、借入金返済の負担が少ないことを示します。
（令和4年度決算 7.1%）

Q 経常収支比率とは？

- A 経常収支比率とは、経常的な一般財源（毎年の収入があり、使い道が制限されていない市税や普通交付税など）に対する経常的な支出（人件費や扶助費、公債費など）の割合。比率が高いほど、財源に余裕がなく、財政の弾力性がないことを示します。
（令和4年度決算 93.9%）

新庄市ホームページ「財政情報」の紹介

<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>

新庄市では、ホームページにて財政状況を積極的に公表しています。

★各種計画等★

●財政再建プラン

財政健全化に向けた新たな取り組みとして平成21年度以降の計画を掲載しています。

●中期財政計画

令和3年度から令和7年度までの5年間の財政計画を掲載しています。

★各種指標等★

●財務諸類

平成28年度決算分より、総務省が平成27年1月に公表した「統一的な基準による地方公会計マニュアル」に基づき書類を作成しています。

●当初予算

わかりやすい予算書、当初予算書、当初予算内示資料を掲載しています。

●財政状況の公表

財政状況、当初予算状況、決算の状況について掲載しています。

●決算

一般会計の決算、普通会計財政分析比較表、総合的な財政状況等一覧表について掲載しています。

発行年月 令和6年4月
編集・発行 新 庄 市

【問い合わせ先】

新庄市財政課 財政運営係

〒996-8501 山形県新庄市沖の町10番37号
TEL 0233-29-5851 / FAX 0233-22-0989
E-mail zaisei@city.shinjo.yamagata.jp
